学校番号	３０２６

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ（GC）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	数学Ｂ（数研出版）						
副教材等	サクシード数学Ⅱ＋BC　解答付き サクシード数学Ⅱ＋BC　完成ノート スタディサプリ（デジタル教材）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自律した学習能力を身に付けることを大切に進めていきます。数学 I、A に比べてより発展した内容を学習します。問題が解けるかどうかを単に目指すわけではなく、なぜこうなるのかを自分で説明できるようなることや、なぜこのような公式が成り立つのかを数学的根拠に基づきながら理解し、さらに証明できることを目指します。
みなさんにお願いしたいことは、①1 年次の復習を必ず行うこと（英語で学習した人は必ず日本語に変換して理解し直すこと）、②難しいと感じたら無理に進まず振り返って自分が分かるところまで戻ること、の２つです。このように丁寧に振り返ることで、数学の世界を根本的なところから理解することができます。そのような理解は、他教科や学校生活や私生活の中でもきっと役立つと考えています。粘り強く一緒に学習していきましょう。
なお、英語で行われるコースも学習目標や定期テスト等は原則同じとなっています。

2　学習の到達目標

数列、統計、平面ベクトルについての発展的な概念や原理、法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
数学的な見方・考え方を働かせ、事象を論理的に考察し、数学的に解釈したり、自らの思考過程を的確に表現したりする能力を身に付ける。
数学等を通した活動において、数学と人間社会の関係について認識を深め、数学のよさを実感しながら主体的に学習に取り組む態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観点の趣旨	数学における基本的な概念を様々な方法で表現する方法を理解し、説明しようとしている。また、数学的な概念を他者に概念を用いて効果的に説明することができる。 身の回りの事象や、数学特有の事象について、数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	身の回りの事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。レポート課題等で、独自の視点から考察することができ、かつ数式や図を用いた数学的な表現が十分できる。１つの問題に対し、複数の解答方法を示すことができる。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする。また、粘り強く考え、数学的根拠に基づいて判断しようとする。問題解決の過程を振り返り、考察を深め、評価・改善しようとする。自分の目標に対して、自分で計画を立て学習することができる。 課題に対して、実施することだけを目標にするのではなく、自身の能力を伸ばすように積極的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数列	等差数列、等比数列とその和 和の記号 Σ 階差数列 漸化式 隣接 3 項間漸化式 数学的帰納法といろいろな証明	a:整式、高次方程式、図形と方程式などの計算を行うことができる。方程式のさまざまな性質を理解し、その仕組みについて考察することができる。 b:身の回りの事象や数学的事象を考える際、整数の性質や方程式を利用することができる。 c:整式や方程式に関心をもち、それらの活用方法を考えることができる。	小テスト、期末テスト	レポート、単元テスト、期末テスト	レポート、日々の宿題
2学期	統計的な推測	確率変数と確率分布 期待値・分散 二項分布 正規分布 母集団と標本 推定 仮説検定	a:確率変数、統計的な推測に関わる基本的な問題に取り組み、解くことができる。関数に関わる基本的な公式を理解し、証明に取り組むことができる。 b:身の回りの事象や自然の中で数学が利用されていることを理解し、また自分自身でどのように身の回りや自然の中で活用することができるのか考察することができる。 c:確率や統計的推測関心をもち、関数の利用方法などを考えることができる。	小テスト、期末テスト	レポート、単元テスト、期末テスト	レポート、日々の宿題
3学期	平面ベクトル	ベクトルの演算、ベクトルの成分、ベクトルの内積	a:平面ベクトルに関わる基本的な問題に取り組み、解くことができる。微分・積分に関わる基本的な公式を理解し、証明に取り組むことができる。 b:身の回りの事象に微分・積分が利用されていることを理解し、また自分自身で身の回りの事象に活用することができる。 c:ベクトルに関心をもち、その活用方法などを考えることができる。	小テスト、期末テスト	レポート、単元テスト、期末テスト	レポート、日々の宿題

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:学びに向かう人間性